

平成20年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定について

反対討論

八木 修

下水道事業の見直しを進めながら、関連するし尿処理施設は先行して建設を進めている。現状を的確に判断し、ムダを省けば健全な町財政にすることができると。福祉や教育に回す予算も捻出できる。

反対討論

高木 教夫

自公政府が進めた市場競争至上原理主義は、淘汰の社会でありその狭間で多くの中小業者が倒産をし、国民の雇用や暮らし、農、林、漁が成り立たなくなり、ここで地方行政が手立てを行う事が求められます。特に能勢の主体は農業ですが農業水産費の削減、町民に影響が大きい教育、衛生費の削減、中小業者の組織率50%しか無い商工会に商工振興費を計上する等全体に納得出来ない決算には賛成しかねますので反対の立場を取らせて頂きます。

反対討論

今中 喜明

二十年度の政策の中で税の未収額、空き地の保全の対策等、土地利用計画について方向を示さず、何ら手を打たない状態であるとともに、肝いりで設けた農園の貸し付けについても今後の農業政策について総括されず、方向性を示さない状況である。住宅政策でも同様である。

そういった状況の中で示された決算に対し、今後の能勢町のあり方を推進すべき政策がなかなか実行できない状況であり町長を中心としたやる気の問題として決算に表れている。

よって実行性のない決算には賛成できない。

賛成討論

岡本ひとし

歳入総額45億4100万円前年度対比0.3%の減・歳出総額43億2200万円前年度対比1.6%減であり、実質収支1億8400万円となりました。前年度より公債費比率・起債制限比率については若干ではありますが改善されたように思われます。一般会計においては黒字決算となりましたが、今後町税・地方交付税等の減収が予想されるなか、経常的経費がさらに増加することが今後予想されてきます。今後、更なる歳入の見直しを行う事が最優先課題であると言わざるを得ません。今後とも住民の視点に立った行財政運営をよりいっそう努力することを切望し、賛成討論といたします。

賛成討論

谷 義樹

今回提出されました平成20年度能勢町一般会計決算書については、監査委員の報告にもあるように、予算の執行及び関連する事務の処理は全て適正と判断いたします。

今後自立経営プランを進めていく上で、現状に満足することなく更に適切な精査を図り、効果的な町政運営に努力頂くことを期待し、賛成の討論と致します。

賛成討論

濱 諦弘

町おこしは、やる前からアレは無理これも無理と批判しては出来ません！あがいてあがいて、一〇〇の作戦を立てて、そのうちの一つでも成功したら町おこしが成功するじゃないですか！

そういった点を踏まえて、町の努力を評価して賛成いたします。